

■西川文子 婦人運動家。“野のダリア”で出発し、庶民的で現実的な婦人解放運動を展開した。
にしかわふみこ
新体詩抄・・1882＝ 岐阜県安八郡南杭瀬村外野の庄屋の家に生れる。父志知伊左衛門・母愛の次女。

帝国憲法発布1889＝ 7歳：

大津事件・・1891＝ 9歳：

日清戦争始・1894＝12歳：郷里の高等小学校を卒業して、京都府女学校本科入学、

補習科を経て、

ピアノ国産化・1900＝18歳：新設の同校国漢学科に進み、在学中歌人で国学者猪熊夏樹の指導をうけるが、旧風の学問や歌風にあきたらず、与謝野晶子や新詩社の作風にひかれる。晶子の妹里子とは女学校以来の親友で、里子のはのち文子の兄志知善友と結婚する。

教科書疑獄・1902＝20歳：卒業。直前、洛陽教会で開催された足尾鉍毒問題演説会を機に詩人松岡悟(荒村)を知り、大恋愛して結婚。その後しばらく大垣市立高等女学校につとめていたが辞職。荒村のつとめた濃飛育児院を手伝い、

日比谷公園・1903＝21歳：*荒村が早稲田大学予科へ入学するとともに、東京へ移居。安部磯雄が会長をつとめる社会主義協会に参加、詩や評論を発表し、平民社を支える“野のダリア”と称される。

日露戦争始・1904＝22歳：*結婚生活わずか2年で、荒村が死去。その志を継ごうとして平民社に入社し、婦人啓蒙・解放運動に参加。一方で「荒村遺稿」を編集刊行。

日露戦争終・1905＝23歳：_平民社の西川光二郎と再婚。

伊藤博文暗殺1909＝27歳： 3男2女を生む。

明治天皇没・1912＝30歳：_{婦人雄弁会}をつくり、

大正政変・・1913＝31歳：*{新真婦人会}を発足させ、{新真婦人}誌を主宰発刊、庶民的現実的婦人解放をめざす。

第一次大戦始1914＝32歳：「婦人解放論」刊行。

本格政党内閣1918＝36歳：

原敬首相暗殺1921＝39歳：

関東大震災・1923＝41歳：_雑誌はこの年まで刊行。その後も災害救援活動、禁酒運動を続け、

護憲三派圧勝1924＝42歳：*{婦人参政同盟}を結成、市川房枝の{参政権獲得同盟}に協力している。夫光二郎の実践道徳活動と{児童道話}の刊行に協力。

治安維持法・1925＝43歳：_自らも{子供道話}を発刊。

金融恐慌・・1927＝45歳：

満州事変・・1931＝49歳：

国際連盟脱退1933＝51歳：_{ハイハイ日曜学校}を自宅に開設、

二二六事件・1936＝54歳：

日中戦争始・1937＝55歳：

大政翼賛会・1940＝58歳：_夫が死去して{児童道話}{子供道話}を廃刊。以後は亡夫の遺著の刊行につとめ、

日米開戦・・1941＝59歳：

敗戦・・・1945＝63歳：_戦後は、著述活動で活躍。

極東裁判決・1948＝66歳：_“婦選の杖”をうける。

独立回復・・1951＝69歳：

自衛隊発足・1954＝72歳：

安保闘争・・1960＝78歳：_没した。

没後「平民社の女-西川文子自伝」「西川文子遺歌集」が出版された。

「日本の女性」、